

第 148 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(令和 2 年度 第 4 回)

- ・日 時 令和 2 年 7 月 22 日 (水) 15:00～15:45
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、山下学長代行、石橋副学長、岸本副学長、林総合政策学部長、
梶谷看護栄養学部長、岩田人間文化学部長、福原北東アジア開発研究科
長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、松浦教務部長、濱田学生生活部長、
名和田学生生活部長、小柳学生生活部長、狩野別科長、李北東アジア地
域研究センター長、藤原しまね地域研究センター長、小池事務局長
- ・欠席者 井上厚史副学長

○新型コロナウイルス感染者の発生と対応について

清原学長及び山下学長代行から、新型コロナウイルス感染者の発生と対応につい
て、資料(略)により報告があった。

○第 147 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 147 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 美郷町との包括連携に関する協定の締結について(浜田キャンパス)

事務局から、美郷町との包括連携に関する協定の締結について、資料(略)によ
り説明があり、承認された。

(2) 雲南市との包括連携に関する協定の締結について(浜田キャンパス)

事務局から、雲南市との包括連携に関する協定の締結について、資料(略)によ
り説明があり、承認された。

藤原しまね地域研究センター長より、浜田キャンパスもこの協定に則り、今後連
携事業等を実施してよいか確認があり、清原学長から、どんどん進めてもらいたい
と回答があった。

(3) その他

濱田学生生活部長より、前回議論のあった成績優秀者奨学金について、昨年度ま
での成績優秀者奨学金との差額が大きく、学生への周知が進んでいないことから、
激変緩和措置等を実施しないのか確認があり、清原学長及び事務局から、昨年度ま
では経済支援奨学金と成績優秀者奨学金の 2 つがあり、それをどちらも取得すると、
年間授業料相当の支援になるが、今年度から国の修学支援制度も始まり、その制度
で年間授業料の減免が受けられるため、経済支援に対する考え方は国の制度をもっ
て対応することとし、成績優秀者奨学金は成績優秀の奨励という意図のみをもって
設けたこと、金額については賛否両論あるが、クラブ活動等の優秀者には表彰と盾
の授与のみとなっており、そのバランスを考慮する必要があること、また、経過措
置については、上述した各制度の趣旨を考慮し、実施しないと回答があった。

続いて濱田学生生活部長より、新制度の周知が遅れているので、丁寧な説明を実施してもらおうなど、学生に配慮をお願いしたいと発言があり、清原学長から、学生には趣旨の説明及び周知徹底を改めて図りたいと発言があった。

《報告事項》

(1) 浜田キャンパス新学部設置届の受理について（浜田キャンパス）

事務局から、浜田キャンパス新学部設置届の受理について、資料（略）により報告があった。

(2) 浜田キャンパス新学部における広島会場設置に関する方針について（浜田キャンパス）

事務局から、浜田キャンパス新学部における広島会場設置に関する方針について、資料（略）により報告があった。

福原北東アジア開発研究科長より、教職協働の精神とは、国際関係コースの広島での試験会場設置にあたり、全キャンパスの教職員が協力して業務にあたってほしいという意味合いか確認があり、清原学長から、そのような意味合いではないと回答があった。

(3) 北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて（浜田キャンパス）

李北東アジア地域研究センター長から、北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて、資料（略）により報告があった。

(4) その他

清原学長から口頭により、出雲及び松江キャンパスでの大学院設置構想について、今後島根県との協議を進めていく旨の報告があった。

次回開催予定：令和2年9月23日（水）